

家庭教育学級だより



令和4年 5月 31日 第1号

【家庭教育学級】 核家族化・少子化・地域の連帯感の希薄化が進む現代社会においては、子育てについて気軽に相談できる機会が少なくなっています。そこで、“自信を持って、楽しく子育てをしてほしい”との思いから、子育てに迷い、悩んでいる親御さん、家庭教育のヒントを学びたい保護者の皆さんを対象に「子育てや家庭教育について学ぶ場・学ぶ機会」を提供するために石巻市が取り組んでいる事業です。

家庭教育学級事業が動き出しました

令和3年度も、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、各実施機関では多くのことが制限されました。

令和4年度も、まだまだ予断を許さない状況下で、実施機関でも先が見えない状況だとは思いますが、家庭教育学級開設に向けて着実に準備は進んでいます。その一環として、4月25日（月）に石巻中央公民館を会場として「家庭教育学級担当者説明会」が行われ、Web説明会でも実施機関の家庭教育主事の先生方に今年度の家庭教育学級の運営についてお伝えしました。今回の説明会が、今後の各実施機関での学習会に生かされ、実りの多い学習会が計画されることになってくれればと思います。

家庭教育学級の概要(P1)

- ・目的＝家庭教育に関する学習の機会を提供し、子育てについての理解を深め、望ましい家庭教育ができるようにする
- ・開設機関＝各機関が所属する公民館（所管）
 - 旧市内＝石巻中央公民館
 - 旧各町＝各地区公民館
- ・実施機関＝各教育機関
 - 保育園（所） ○幼稚園 ○学校 等

合同学習会の開催について

令和3年度は3回の合同学習会を行いました。今年度も家庭教育の充実のために保護者に「学びの機会」「学びの場」を提供することの重要性を鑑み、各実施機関を会場にするだけでなく、公民館等を会場として学習会を行う「合同学習会」を開催します。

毎回、参加者から「とてもよい内容でした」「これからも継続してほしい」などの意見や感想があり、今年度も継続して実施することとしました。下記は現在の予定ですが、正式な日程や演題等の詳細が決定ししだい、下記のホームページ等でもご案内したいと考えておりますので、多くの方の参加をお待ちしております。

＜令和4年度 合同学習会＞ ※実施時期は現在の予定です。コロナ対策等で変更・中止になる場合があります。

- ・ 7月＝こころ処利府 古関 光一 先生
- ・ 9月＝学習療法士 伊藤 知子 先生
- ・ 11月＝ドリームフィールド代表 阿部 侑生 先生
- ・ 2月＝認定心理士 安部 富士子 先生

過去の「家庭教育学級だより」も公開しています。どうぞご覧ください。

○石巻市教育委員会 生涯学習課「家庭教育学級」ホームページ

URL＝<https://www.city.ishinomaki.lg.jp/d0010/d0070/d0007/d0070/index.html>



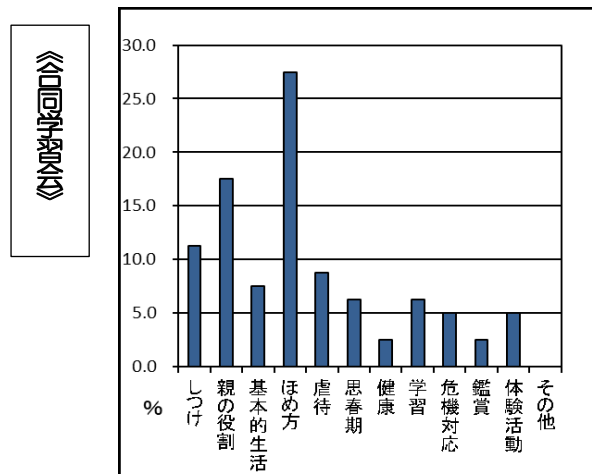
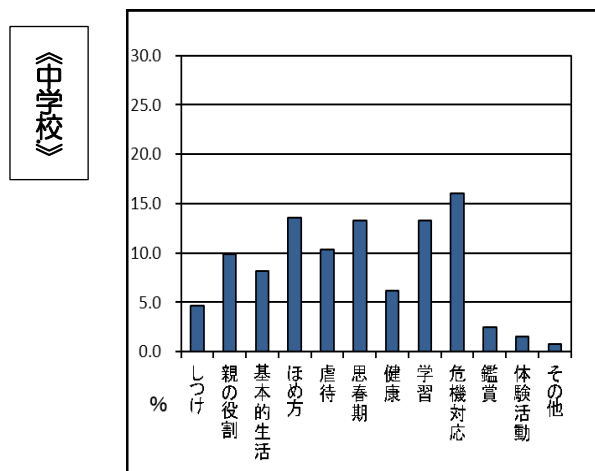
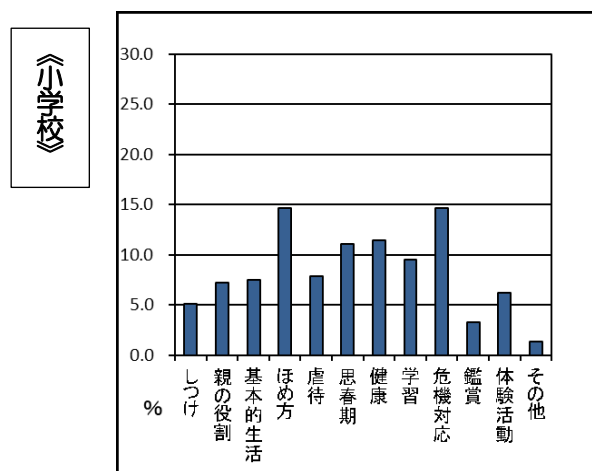
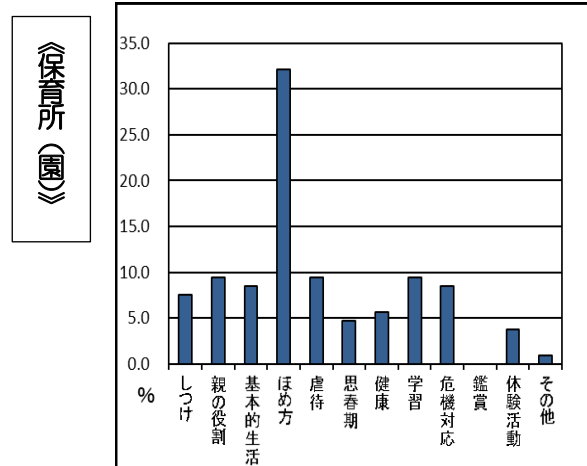
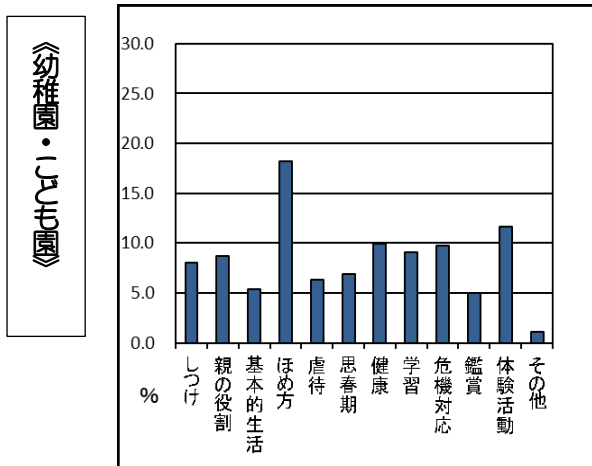
★ 令和3年度を振り返って ★

令和3年度も、コロナ禍でなかなか学習会を開設することが難しい時期もありました。その中でも一年間を振り返り参加いただいた保護者のみなさまの思いが今年度への参考になればと思います。

1 学習会への参加状況について

- 実施機関数は49機関で、学習会の開催も73回でした。令和2年度と比べると約1.4倍に伸びましたが、感染拡大前の令和元年と比較するとまだ半分～6割程度の実施でした。
- 参加人数は3,746名で、こちらも1.5倍になっていますが、まだ以前の4割程度です。
- 参加者の事後の感想を見ると、ほとんどの参加者が「参加してよかった」「また参加してみたい」などが多く、学習会に対して好意的な回答が多く見られました。

2 今年度の学習会への要望等について



(まとめと考察)

- ・各発達段階で課題となりうる項目に対しての保護者の要望が多くありました。
- ・多岐にわたっての要望があり、保護者の希望をしっかりと把握した上での学習テーマ決定が重要です。
- ・就学前のお子さんの保護者の方は、子どもの「ほめ方」や日常のかかわり方に関する研修を望む傾向が強く見られました。
- ・お子さんの年齢が上がるにつれて「危機管理」「思春期」などの課題に対しての研修の要望が多く見られました。
- ・合同学習会では、参加者のお子さんの年齢が低いこともあり、「ほめ方」や「親の役割」などの子育てに関する要望が多い傾向が見られました。